

2020年度 事業計画

概要

当団体は、人々が等しく生きていくための基本である「食」の在り様を考え、さまざまな人々が「食」をキーワードに、それぞれの立場や背景（年齢、性別、職業、国籍、信条など）にとらわれず、ともに学び合い、「食べることは共感の場」であることを実感し、再認識できるつながりの場・機会の提供を目指しています。

「食」をテーマに活動している個々人の想い（点）をつなぐ（線）とすることにより、その相乗効果から新たに生まれる力や活動を支援します。

昨年度は当団体が目指すべき活動の基盤づくりの年と位置付けて取り組んできましたが、今年度は、その活動をひとつひとつ具体化していきます。

そのひとつとして、食べ物を育てる人、食材を料理として提供する人、そして食べる人、これら3者のそれぞれの想いや情報を共有する仕組みづくりを通して、点と点を結ぶ1対1の直線的なつながりではなく、3者のつながり（トライアングル）として、そのつながりの環を成す流れに乗って、モノ、情報、知恵そしてお金がぐるぐると廻る循環型の「食の学び場」づくりの取り組みを進めます。

また、生産者や料理人の取り組みや創意工夫を正しく消費者に伝え、理解を深めるための広報活動などにも取り組みます。

実施事業

1 「体験型・食の学び場」トライアングル事業

当団体が「食」をきっかけに、次世代に伝えるべきと考えている「滋味を伝える」「身土不二を大切に」「和食観を活かす」「よい食事・美しい食べ方を求める」という4つのテーマを実践している生産者の活動への理解を深めるため、当団体の活動に関心を持ち、次世代への橋渡しとなる参加者に現地に赴いてもらい自らが体験し、共感してもらうための活動に取り組みます。

(1) 体験ツアーの企画立案

本事業の事前調査として2019年度にコンタクトを取った生産者（長野県飯田市山本地区、三重県桑名市多度町、兵庫県南あわじ市）との協力関係を深めるとともに、具体的な企画検討を行います。また、2021年度の本格的な活動を目指し、小規模での試行を実施します。

(2) YouTube等を利用した広報活動

現地を紹介し地域の活性化に寄与するため、現地生産者等の取り組みを紹介する記事や動画を作成し、当団体のホームページで紹介するほか、閲覧機会を増やすためYouTubeにアップして賛同者の拡大を図ります。

(3) 絵本製作

生産者の現地での活動や取り組みを紹介することは、その地域の活性化などの貢献になり、絵本を通して、「食の学び場」を作ることにもなることから、クラウドファンディングなどを活用しつつ絵本製作に着手していきます。

2 「生産者」「飲食店」「消費者」をつなぐトライアングル事業

当団体の活動に賛同する「生産者」が作った食材をもとに料理を提供する「飲食店」と「消費者」をつなぎ、「滋味を伝える」「身土不二を大切に」「和食観を活かす」「よい食事・美しい食べ方を求める」という4つのテーマを浸透させることを目的とした取り組みです。2020年度は昨年度の活動を踏まえ、淡路島直送食材をセールスポイントとしている『百菜』とのコラボレーションを具体化し、これをモデルケースとして次なる展開につなげたいと思っています。

(1) チラシの作成

店内に配置して顧客への広報に用いるほか、兵庫県・東京淡路会など関係者への広報活動にも利用する目的で、『百菜』のチラシを作成します。

(2) ホームページへの広報

顧客の7～8割をリピーターが占めるという『百菜』の情報発信手段として、ホームページを活用した広報活動を支援します。記載内容は取材記事だけではなく、関係者への取材動画なども検討し、動画に関しては『百菜』店内での上映等についても『百菜』代表の阿部氏の意向を尊重しながら対応します。

(3) 関係者との連携強化

本事業の推進にあたっては、単に『百菜』との共働にとどまることなく、生産者（野口ファーム、嶋本食品他）、一般社団法人淡路島観光協会、淡路島県民局、地域マスコミなどとの連携も模索し、情報収集及び発信に努めます。

3 ヤギ学園とのトライアングル事業

当団体の賛助会員であるヤギ学園がフィリピンにおいて行っている取り組みは、当団体が取り組もうとしている活動と重なる部分が多いため、ヤギ学園との事業推進上の連携関係を築くことにより、国内のみならず海外も視野に入れた「食の学び場」を提供し、同じ思いを持った団体の活動を支援します。

(1) ヤギ学園が行う貧困地域の子供たちへの「給食」の取り組み

フィリピンでは、経済的理由による栄養不良とそれに伴う登校意欲の減退が生徒たちの課題となっており、ヤギ学園では社会貢献活動の一つとして該当地域の子供たちへの「給食」そして学ぶ機会の提供に取り組んでいます。ヤギ学園が行うこの取り組みは、当団体が目指す「食の学び場づくり」にも通じることから、ヤギ学園の活動を支援し、日本の食品メーカーや関係団体への働きかけを行います。

(2) 人材交流活動

ヤギ学園とトライアングル事業の一つとして、ヤギ学園の教員のスキルアップを目的として人的支援（人材派遣、人的交流）についても取り組みます。

4 広報事業

ホームページを開設して当団体の取り組みを紹介するとともに、当団体が目指すべき事業への理解を深めるように努めます。またホームページでの広報のほか、印刷・出版及びSNSなども活用して効果的な広報事業に取り組みます。

5 組織運営

定款、設立趣意書及び関係法令に基づき、適正に組織運営を行います。また、円滑かつ効果的な事業運営を行うため、安定的な財源確保を図ることとし、一般会員及び賛助会員の獲得並びに寄付金の募集に努めます。

寄付金については、当団体の指定口座への直接寄付のほか、寄付希望者の所有物で不要となった本や DVD などを専門の代行業者を介して換金し、当団体への寄付する仕組みの活用やクレジットによる寄付など寄付者の利便性も考慮した受け入れ体制整備に努めていきます。